

平成30年3月定例会

# 河合町議会会議録

平成30年3月15日 開会

河合町議会

## 平成30年第1回（3月）河合町議会定例会会議録目次

○招集告示	1
-------	---

### 第 1 号 （3月15日）

○議事日程	3
○本日の会議に付した事件	3
○出席議員	3
○欠席議員	3
○出席説明員	3
○欠席説明員	4
○議会事務局出席者	4
○開会の宣告	5
○開議の宣告	5
○町長のあいさつ	5
○会議録署名議員の指名	9
○署名議員	10

河合町告示第9号

平成30年第1回（3月）河合町議会定例会を、次のとおり招集する。

平成30年3月9日

河合町長 岡井 康徳

1 期 日 平成30年 3月15日

2 場 所 河合町議会議場

平成 3 0 年 3 月 1 5 日（木曜日）

（ 第 1 号 ）

# 平成30年第1回(3月)河合町議会定例会会議録

## 議事日程(第1号)

平成30年3月15日(木)午後2時00分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

---

## 本日の会議に付した事件

日程第1に同じ

---

## 出席議員(12名)

2番 大西孝幸	3番 清原和人
4番 馬場千恵子	5番 吉村幸訓
6番 岡田康則	7番 森尾和正
8番 池原真智子	9番 西村 潔
10番 疋田俊文	11番 谷本昌弘
12番 中尾伊佐男	13番 辻井賢治

## 欠席議員(1名)

1番 岡田美伊子

---

## 地方自治法第121条の規定により出席した者

町長	岡井康德	副町長	東正次
教育長	竹林信也	企画部長	澤井昭仁
総務部長	福井敏夫	福祉部長	門口光男
住民生活部長	堀内伸浩	まちづくり 推進部長	竹田裕昭
教育部長	井筒 匠	企画部次長	森嶋雅也
総務部次長	木村光弘	総務部次長	上村 豊
福祉部次長	辰己 環	住民生活 部次長	岡田昌浩
まちづくり 推進部次長	中山雅至	教育部次長	上村欣也

安心安全課長	阪本武司	財政課長	上村卓也
税務課長	浮島龍幸	住民福祉課長	中野雅史
高齢福祉課長	山本孝典	保健スポーツ課長	中野典昭
認定こども園準備室長	佐藤桂三	特命担当	梅野修治
住民生活課長	上村英伸	地域活性課長	福辻照弘
上下水道課長	石田英毅	教育総務課長	杉本正範
欠席者 (なし)			

---

#### 会議に従事した事務局職員

調整員 堀内一憲

開会 午後2時00分

◎ 開会の宣告

○議長（疋田俊文） みなさんこんにちは。本日、告示第9号をもって平成30年第1回定例会を招集されましたところ、ただいまの出席議員は12名で定足数に達しております。

よって、平成30年第1回定例会は成立しましたので開会します。

尚、1番岡田美伊子議員より欠席届出を受けております。

---

◎開議の宣告

○議長（疋田俊文） これより本日の会議を開きます。

---

◎町長のあいさつ

○議長（疋田俊文） 町長、招集の挨拶並びに施政方針を登壇の上願います。

○町長（岡井康徳） 議長。

○議長（疋田俊文） 町長。

（町長 岡井康徳 登壇）

○町長（岡井康徳） 本日ここに、平成30年第1回定例議会を招集致しましたところ、議員各位にはご多忙中にもかかわらず、ご出席いただき厚くお礼申し上げます。また、平素の町政全般にわたるご支援、ご協力に対し、深く謝意を表すものでございます。

まず、このたびの住宅及び清掃工場における不適切な事務処理により、町民の皆様の信頼を大きく失墜させ、ご心配とご迷惑をおかけしていることについて、行政の長として責任を痛感しているところです。

今後、このような事態を二度と起こさないという決意を持って、町民からの信頼を取り戻すべく町政に努めてまいりたいと考えています。

関係職員につきましては、外部委員会等の検証を踏まえて処分を行う予定でございますが、私自身につきましては、給料額の減額による処分と考え、具体的には3ヶ月間、20%を減額

してまいります。なお、昨年より実施しております財政健全化に伴う1年間、15%の減額も引き続き実施してまいります。

さて、今議会においては、平成30年度の一般会計及び特別会計並びに企業会計それぞれの予算案と、それに関連する諸議案を提出致しましたので、本町の現況と、将来あるべき姿を展望しながら、30年度の町政に対する基本方針と施策の一端を申し述べ、議員各位をはじめ町民皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、我が国の社会経済情勢は、雇用・所得環境の改善が進む中、政府の各種施策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いているとされています。政府は、成長軌道を確認なものとし、少子高齢化に対応するため、「人づくり革命」と「生産性革命」を柱とする新しい施策を示しております。本町においても「河合町街再生総合戦略」に位置付けた施策に取り組み、河合の魅力を発信し、新しい人の流れを作るとともに、若い世代が希望を持てる町づくりの実現に向けた取り組みを押し進める必要があります。

平成30年度の本町は、人口減少や少子高齢化の影響などにより、町税収入の大きな伸びが見込めないことや、社会保障関連経費の増大、公共施設や社会インフラの老朽化対策などが見込まれるなど、引き続き厳しい財政運営が予想されますが、財政健全化への取り組みを最重要課題とする一方で、厳しい財政状況のなかにあっても、一定の行政水準を保ちながら、町の将来を見越した、人口の流出抑制や流入促進のための施策を着実に進める必要があることから、事業の必要性や優先順位を見極め、厳しい選択により限られた財源を優先度の高い事業へ重点的に配分することを基本として予算編成に取り組んだところであります。

その結果、一般会計当初予算の総額は、75億2,000万円で、前年度に比べ13億6,500万円、22.2%の増額となっております。

それでは、30年度の町政運営の基本的な方針について述べさせていただきます。

第1に、街の活性化に向けた取り組みの推進です。

河合町街再生総合戦略の中間年である昨年度、事業の進捗や効果検証を実施すると共に、様々な世代から多くの意見をいただきました。また、「河合町の花嫁」と題し取り組んだテレビお見合い番組の全国放送を来月に控え、まさに「いま」が河合町の知名度を飛躍的にあげられる好機ととらえ、各種事業に取り組んでまいりたいと考えています。

そのひとつとして、大輪田駅前のUR都市機構の住宅に入居した学生に家賃補助を行い、町や自治会活動の一翼を担ってもらうとともに、学生の情報発信力にも期待した「学生さんいらっしやい」事業を展開してまいります。これを契機に、河合町を将来の定住地として意



識してもらうことも期待できると考えております。

次に、近鉄田原本線開通 100 周年イベントです。来月 4 月 26 日に旧大和鉄道が開通してちょうど 100 年を迎えます。本町には、3 駅があることと併せて、森本千吉氏という深いご縁のある先達がおられます。鉄道を開通することで地域を発展させたいという意志を受け継ぎ、また、河合町のリージョンプロモーションに資するため、各種イベントを展開してまいります。

最後に、より親しみやすく河合町の歴史を学ぶと同時に、郷土愛を育むことを目的とした、漫画による河合のまち再現事業であります。昭和初期の川合・市場地区の街並みを再現し冊子にまとめたものをベースに、ストーリー性を加え当時の生活を漫画化するものです。なお、継続して「かわい浪漫プロジェクト」「すむ・奈良・ほっかつ！移住プロジェクト」「自治会ニュースコンクール」「映画優待券事業」などにも意欲的に取り組んでまいります。

第 2 に、福祉、教育環境の充実であります。

子どもや、高齢者、障害者の方々が円滑な日常生活や社会生活を送ることができる、まちづくりを進めるための「保健・福祉施策」であります。幼児教育と保育の充実を目的とした「幼保連携型認定こども園」につきまして、平成 32 年 4 月の開園を目指し、就学前の子ども達への教育・保育サービスの拠点として、緑豊かな馬見丘陵公園に隣接した優れた環境の中で、多様化、複雑化する保育ニーズなどにきめ細かに対応してまいります。

また、地域包括支援センターの機能強化を図り、医療、介護、予防、福祉・生活支援サービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、これからの高齢者があらゆる世代の皆さまとともに豊かにいきいきと暮らせる地域共生社会をめざして、第 7 期介護保険事業を進めてまいります。

さらに、平成 30 年度からの国民健康保険制度の県単位化につきましても、着実に対応してまいります。

次に、学校再編につきまして、平成 32 年 4 月に第二小学校と第三小学校を統合するべく、再編準備委員会を設置し、PTA、地域の方々に参加していただき協議を重ねているところでございます。また、第二小学校の老朽化対策として、平成 30 年度から 3 年計画で改修を行ってまいります。

また、教育の充実として、障害のある児童生徒に対して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を克服できるよう、必要な支援を行うため、講師又は支援員を配置してまいります。

さらに、ICT教育推進のため全小学校にタブレット端末を整備いたしました。今後、小学校において英語の教科化やプログラミング教育なども始まりますので、引き続き教育の充実を図ってまいります。

第3に、安心して安全なまちづくりであります。

昨年7月から、町内循環ワゴン「すな丸号」の運行を開始したことにより、町内の買い物や通院、公共施設への移動など、住民の皆様の日常生活の基本となる移動手段が確保できたものと考えています。これからもルートや停留所の見直しなど、利便性の向上に努めてまいります。

昨年の台風21号による長雨の影響で大和川が増水し内水氾濫が発生、川合地区など10地区に避難指示が発令され、多くの方が避難所で不安な夜を過ごされました。

大雨による河川の氾濫は、大和川流域に暮らす私たちにとって大きな問題であり、国土交通省、気象台と流域自治体で構成する「大和川上流部大規模氾濫に関する減災対策協議会」で策定されている「大規模氾濫域の減災に係る取組方針」に基づき、減災のための対策を一体的・計画的に推進してまいります。

防災行政無線は昨年12月からデジタル波で運用を開始し、情報の収集と発信の多様化が可能となりました。これに伴い、戸別受信機に替わる新たな情報伝達方法として、登録メール配信、固定電話及びファクシミリへの配信システムを導入し、普及促進に取り組んでおりますが、更なる周知に努めてまいります。

また、災害時に対策拠点となる本庁舎の耐震補強工事については、平成31年3月末の完了予定で進めています。工事期間中、町民の皆様にはご迷惑をおかけする事になりますが、ご理解とご協力をお願いします。

さらに、上水道事業につきましては、かねてよりの懸案事項である西大和既存配水タンクの除却工事と、県営水道の第2受水池となる、第1配水タンク更新基本計画策定業務を実施してまいります。

平成30年度の町政運営につきまして、私の所信の一端を申し述べました。本方針に基づき、今定例会に提案させていただいております「平成30年度当初予算案」をはじめ、各議案につきまして、ご審議の程よろしくお願い申し上げます。

当町におきましても依然として厳しい財政状況に直面しておりますが、厳しい財政状況にあっても、今本当に必要なものについては、勇気をもって推し進めていく所存でございます。

ここに重ねて、議員の皆様方をはじめ、町民の皆様方の温かいご理解と一層のご支援、ご

協力をお願い申し上げ、施政方針並びに招集のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

---

◎会議録署名議員の指名

○議長（疋田俊文） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第116条の規定により議長において、7番、森尾和正議員、8番、池原真智子議員を指名します。

暫時休憩します。

休憩 午後2時16分

---

「自然閉会」 午後5時00分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 疋 田 俊 文

署 名 議 員 森 尾 和 正

署 名 議 員 池 原 真 智 子